

金見ア／一
水族館

特製

いきもの

カード



金見あまちゃんクラブ

このカードの使い方

① 水にぬれても OK !

フィールドワークで自由に使いこなそう。

② 生き物の名前を読みながら並べてみよう。

カードは全部で 30 枚。

名前を覚えたら名前を読み上げ、並べてみましょう。

③ 生き物を分類してみよう。

生き物たちを種類別に分けてみよう。

カード裏面に生息している場所が書いてあるので、確認しながら分類しよう。

④ どんな生き物なのか確認してみよう。

カード裏面には生き物に関する詳しい説明が書いてあります。

カードをめくって、どんな生き物なのか確認してみましょう。

⑤ どんな生き物なのか図鑑で調べてみよう。

カード裏面にも解説はありますが、さらに詳しい解説を知りたい場合は、図鑑などを参照しながら見比べると楽しいです。

⑥ カード遊びをしよう。

名前をランダムに読みあげ、カードの中から該当する生き物を選びとってもらう遊びです。百人一首のように、速さを競っても楽しいかもしれませんよ。

金見イノー水族館

いきものカード

コメツブツメクサ

Trifolium dubium

Kanmi

No.01

コメツブツメクサ



学名 *Trifolium dubium*

科名 マメ科

分布 日本全土（帰化植物）

生息場所 砂浜の飛沫が届く辺り

**特徴・
見分け方**

シロツメクサに似るが、直径7～8mmの小さな球状の集合花が黄色く、葉の先端が凹む。

ハマヒルガオ



Calystegia soldanella



kanmi

No.02

ハマヒルガオ



学名 *Calystegia soldanella*

科名 ヒルガオ科

分布 日本全土

生息場所 砂浜の飛沫が届くところから海岸の道路や荒地

**特徴・
見分け方**

花は淡紅白色で中心部は白く、その基部は黄色い。
葉は腎心形でやや厚く、無毛で光沢がある。

ハマゴウ

Vitex rotundifolia

Kanmi

No.03

ハマゴウ



学名 *Vitex rotundifolia*

科名 シソ科

分布 本州以南

生息場所 砂浜や砂浜にある岩場

**特徴・
見分け方**

花は淡青紫色でやや唇形。葉は広卵形で先はややまるく、毛が密生し、表面は灰緑色、裏面は灰白色。

アオモグサ

Boodlea coacta

Kanmi



No.04

アオモグサ



学名 *Boodlea coacta*

科名 アオモグサ科

分布 太平洋沿岸中部～南西諸島、ポリネシア

生息場所 サンゴ礁内やタイドプール内の砂地

**特徴・
見分け方**

緑色で、手触りは柔らかく、カイメン状で、半球状に岩などの上に広がる。

キツネノオ

Cladophoropsis vaucheriiformis

KAWAII

No.05

キツネノオ



学名 *Cladophoropsis vaucheriiformis*

科名 アオモグサ科

分布 奄美群島以南、西太平洋

生息場所 サンゴ礁内やタイドプール内の砂地

**特徴・
見分け方**

細い繊維状の細胞糸で構成された枝は青味がかった緑色を示し、フェルト生地に似ている。

ラッパモク

Turbinaria ornata

KAWAII

No.06

ラッパモク



学名 *Turbinaria ornata*

科名 ホンダワラ科

分布 南西諸島以南、インド・西太平洋

生息場所 サンゴ礁内の滞筋など水通しの良い岩場

**特徴・
見分け方**

葉がラッパ状に変形している。

コブハマサンゴとパリカメノコキクメイシ

Goniastrea aspera

Porites lutea

Kanmi

No.07

コブハマサンゴとパリカメノコキクメイシ

学名 *Porites lutea*・*Goniastrea aspera*

科名 ハマサンゴ科・キクメイシ科

分布 本州太平洋岸～西太平洋沿岸

生息場所 比較的波の静かなイノーやタイドプール内



特徴・ 見分け方

コブハマサンゴ：普通に見られる塊状の群体で、その表面には不規則な瘤状の盛り上がりがある。／パリカメノコキクメイシ：群体は塊状で、その径は 40cm 以下が普通。サンゴ礁の浅海域に生育し、潮間帯（潮が満ち引きするところ）下部付近に特に多い。

エダミドリイシ

Acropora squarrosa

Kanmi

No.08

エダミドリイシ



学名 *Acropora squarrosa*

科名 ミドリイシ科

分布 インド・太平洋沿岸

生息場所 イノー内の比較的波の静かな場所

**特徴・
見分け方**

全体として表面には多数の孔と細かな棘がある。浅海に広く分布し、インド・太平洋のサンゴ礁に最も広く生息している。

シコロサンゴ

Pavona decussata

KAWAII

No.09

シコロサンゴ



学名 *Pavona decussata*

科名 ヒラフキサンゴ科

分布 駿河湾以南、西太平洋沿岸

生息場所 イノー内の浅いところ

**特徴・
見分け方**

両面にポリプがある葉状のもの（＝葉片）が組み合わさって、半球状の群体を作る。葉片は厚く、横に長く伸びる傾向にある。

マメスナギンチャク

Zoanthus sp.

KANAMI

No.10

マメスナギンチャク



学名 *Zoanthus* sp.

科名 スナギンチャク科

分布 本州中部以南、インド・太平洋沿岸

生息場所 サンゴ礁の岩場で、比較的水の流れのある場所

**特徴・
見分け方**

シロマメスナギンチャクに似るが、口盤は赤褐色である。
現在、複数の種が混じっているとされている。

ヒレジャコガイ



Tridacna (Flodacna) squamosa

KAWAII

No.11

ヒレジャコガイ



学名 *Tridacna (Flodacna) squamosa*

科名 シャコガイ科

分布 奄美大島以南、インド・太平洋

生息場所 礁原やイノーの岩場

**特徴・
見分け方**

放射肋に鱗状の突起ができる。岩場に固着する。

オニヒザラガイ

A photograph of a sea slug, Acanthopleura gemmata, resting on a rocky surface. The slug has a segmented, shell-like body with a mottled pattern of brown, tan, and white. It is positioned in the center of the frame, facing downwards. The surrounding environment is a rocky, textured surface with various shades of purple, pink, and grey.

Acanthopleura gemmata

A blue oval logo with the word "kanmi" written in white lowercase letters. A white brushstroke-like line is positioned above the 'i' in "kanmi".

kanmi

No.12

オニヒザラガイ



学名 *Acanthopleura gemmata* **科名** クサズリガイ科

分布 奄美大島以南、北オーストラリアに至る西太平洋沿岸

生息場所 サンゴ礁の潮間帯（潮が満ち引きするところ） 上部から中部の岩場

特徴・ 見分け方

肉帯は、殻板の半分くらいの幅で、不明瞭な横縞を持つ。
肉帯上の棘は長短さまざまで、先端は尖り、白色、淡褐色のものが混在する。

ノシガイ



Pusiosstoma mendicaria

Kanmi

No.13

ノシガイ



学名 *Pusiosstoma mendicaria*

科名 エゾバイ科

分布 紀伊半島以南、熱帯太平洋の沿岸地域

生息場所 潮間帯（潮が満ち引きするところ）上部から中部の岩場

**特徴・
見分け方**

大きさ 2cm ぐらいで、黒色と黄白色の横縞が 4 本ある。

キイロダカラガイ

Monetaria moneta

Kanmi

No.14

キイロダカラガイ



学名 *Monetaria moneta*

科名 タカラガイ科

分布 房総半島以南、インド・太平洋の沿岸地域

生息場所 潮間帯（潮が満ち引きするところ）中部の岩礁の隙間や転石の下

**特徴・
見分け方**

円みのある菱形で、黄白色で、光沢がある。
3本の青黒色の横縞があるものもいる。

イソアワモチ



Onchidium verruculatum



kanmi

No.15

イソアワモチ



学名 *Onchidium verruculatum* **科名** イソアワモチ科

分布 房総半島以南、太平洋沿岸の岩礁域

生息場所 潮間帯（潮が満ち引きするところ）中部の岩礁の表面や隙間

特徴・
見分け方

体は暗黒緑色で、背面前面に大小のイボ上突起が密生する。

ニシキツバメガイ



Chelidonura hirundinina



No.16

ニシキツバメガイ



学名 *Chelidonura hirundinina*

科名 カノコキセワタガイ科

分布 黒潮の影響を受ける本邦沿岸以南、インド・西太平洋沿岸

生息場所 イノーやタイドプール内の砂地

特徴・ 見分け方

体は細長く、その後端はツバメの尾のように2つに分かれ細長く伸び、左側が長い。体の地色は紫黒色で、正中線上にT字型の青緑色の線、頭の先端近くに橙黄色の横線、そして背面の両側に橙黄色の長い縦線がある。

スベスベサンゴヤドカリ

Calcinus laevimanus

Kanmi

No.17

スベスベサンゴヤドカリ



学名 *Calcinus laevimanus*

科名 ヤドカリ科

分布 房総半島以南、インド・西太平洋沿岸

生息場所 水深 10m より浅い岩場やサンゴ礁原の水際

**特徴・
見分け方**

左側のハサミ脚が右側より大きく、ハサミの元の方が黒色で、先の方は白く、丸みを帯びている。

ムツハオウギガニ



Leptodius sanguineus

Kanmi

No.18

ムツハオウギガニ



学名 *Leptodius sanguineus*

科名 オウギガニ科

分布 相模湾以南、沖縄諸島まで

生息場所 潮間帯（潮が満ち引きするところ）の上部の岩礁の隙間や転石の下

**特徴・
見分け方**

甲長 2cm 程度で、甲らの側縁には眼の直ぐ後ろの歯を含め 6 個の歯がある。

ケブカオウギガニ

Pilumnus vespertilio

Kanmi

No.19

ケブカオウギガニ



学名 *Pilumnus vespertilio*

科名 ケブカガニ科

分布 相模湾以南、インド・西太平洋

生息場所 サンゴ礁の潮間帯（潮が満ち引きするところ）や、浅い小石や礫が混じる泥質の砂地

**特徴・
見分け方**

全身長い毛で覆われている。毛の色はベージュ色、焦げ茶色、黒色など。

ケフサイソガニ

Hemigrapsus penicillatus

kawaii

No.20

ケフサイソガニ



学名 *Hemigrapsus penicillatus*

科名 モクスガニ科

分布 北海道～沖縄諸島

生息場所 サンゴ礁や岩礁の潮間帯（潮が満ち引きするところ）の上部や河口域の転石の下

**特徴・
見分け方**

甲らの側縁には眼の後ろの歯を含め3つの歯がある。ハサミ脚の外側、口から頬にかけて、および腹面に黒色の小さい斑点が散在する。オスのハサミには毛の房がある。

ウデフリクモヒトデ

Aphiocoma scolopedrina

Kanmi

No.21

ウデフリクモヒトデ



学名 *Ophiocoma scolopedrina* **科名** フサクモヒトデ科

分布 鹿児島県以南、インド・西太平洋

生息場所 潮間帯（潮が満ち引きするところ）のサンゴ礁や岩礁の隙間

**特徴・
見分け方**

盤の直径は 2cm 程度で、腕は長く濃淡の横縞がある。

No.22

アオヒトデ

Linckia laevigata

Kanmi



No.22

アオヒトデ



学名 *Linckia laevigata*

科名 アカヒトデ科

分布 紀伊半島～九州東岸～南西諸島

生息場所 浅海からサンゴ礁原のタイドプール内の砂地

**特徴・
見分け方**

腕は硬く太く、体全体は青色又は緑色を帯びた青色になる。

ナガウニ



Echinometra mathaei



kanmi

No.23

ナガウニ



学名 *Echinometra mathaei*

科名 ナガウニ科

分布 南日本の太平洋岸～インド・西太平洋

生息場所 サンゴ礁原や岩場の隙間など

特徴・ 見分け方

殻は楕円形で、棘は比較的太く、その色は黄緑色、暗緑褐色や淡紅色と様々である。今までは、ナガウニ1種とされていたが、現在は4～5種に分けられている。しかし、まだ各種の名前は確定していない。

ジャノメナマコ



Bohadschia argus



KAWAII

No.24

ジャノメナマコ



学名 *Bohadschia argus*

科名 クロナマコ科

分布 奄美大島以南

生息場所 浅海やタイドプール内の砂地

**特徴・
見分け方**

体は太い円筒形で、体表には灰白色地に単独あるいは複数が融合した眼の形をした斑紋がある。

クリロナマコ



Actinopyga mauritiana



KAWAII

No.25

クリロナマコ



学名 *Actinopyga mauritiana*

科名 クロナマコ科

分布 小笠原、奄美大島以南

生息場所 浅海の岩礁の凹みや砂礫が薄く堆積したところ

**特徴・
見分け方**

体は堅く、扁平で、上から見ると楕円形に近く、背面は褐色から濃い褐色で白い斑点がある。時に体の両端が白くなる。

オオイカリナマコとニセクロナマコ

Synapta maculate

Holothuria (Mertensiothuria) leucospinata

KAWAII

No.26

オオイカリナマコとニセクロナマコ

学名 *Synapta maculate*・*Holothuria (Mertensiothuria) leucospira*

分布 南西諸島以南と伊豆半島以南

科名 イカリナマコ科・クロナマコ科

生息場所 浅海、サンゴ礁の砂地



特徴・ 見分け方

両種とも体は柔らかく、円筒形。

オオイカリナマコ：体は長く、体表に黒の縞模様がある。

ニセクロナマコ：体は全体に黒い。

ムラサメモンガラ



Rhinecanthus aculeatus

Kanmi

No.27

ムラサメモンガラ



学名 *Rhinecanthus aculeatus*

科名 モンガラカワハギ科

分布 南日本～南西諸島

生息場所 サンゴ礁内

**特徴・
見分け方**

体長 20cm ほどで、口から胸鰭に向かって橙色の斜線があり、体側中央から臀鰭に向かって数本の斜線がある。

クモウツボ



Echidna nebulosa



kanmi

No.28

クモウツボ



学名 *Echidna nebulosa*

科名 ウツボ科

分布 南日本～南西諸島

生息場所 サンゴ礁の浅いところや、礁原のタイドプール内の岩陰に潜む

**特徴・
見分け方**

白色や淡褐色の地色に、黄色い点を含み黒色の不定形な斑紋が1～3列ある。黒色斑の間には黒色点が散在する。眼の虹彩は濃い黄色。

ルリスズメダイ



Chrysiptera cyanea

Kanmi

No.29

ルリスズメダイ



学名 *Chrysiptera cyanea*

科名 スズメダイ科

分布 南日本～南西諸島

生息場所 サンゴ礁内のサンゴの樹間や間隙

**特徴・
見分け方**

体全体が青輝色をしていて、吻から眼を通り黒色の線と点が並ぶ。オスの尾鰭は青色で、メスの尾鰭は透明。

チョウチョウウオ

Chaetodon auripes

KANAMI

No.30

チョウチョウウオ



学名 *Chaetodon auripes*

科名 チョウチョウウオ科

分布 北海道を除く、日本各地

生息場所 岩礁やサンゴ礁内の間隙や岩陰など

**特徴・
見分け方**

体は黄色で、多数の褐色の縦縞がある。尾鰭の根元（尾柄部）と尾鰭には斑紋や帯は無い。

1 **熱中症対策**のため、こまめな**水分補給**を行きましょう。

2 安全な活動を行うために、**服装は注意**しましょう。
(帽子・軍手・マリンシューズや踵付きのサンダル、できれば長袖・長ズボン)

3 特に**岩場**は注意が必要です。
絶対に**走ったりふざけたりしないように**しましょう。

4 **急な天候の変化**があることがあります。
特に**雲の動きには注意**しましょう。

5 満潮から潮が引く時間帯は、イノー内にも**急な流れ**が発生します。**イノーの外には絶対に出ないように**しましょう。



作成・発行

一般社団法人 **金見あまちゃんクラブ**



〒891-7422 鹿児島県大島郡徳之島町金見 474

お問い合わせ

0997-84-9911

動植物写真・文責：鈴木廣志

このカードはユポ（合成紙）を使用しているため耐水性に優れており、水に濡れても破れたり形状が変わることはありません。また、主原料であるポリプロピレンは炭素と水素から構成されています。燃焼時に有害物質は一切発生しません。また、資源として再利用もできます。

このカードは日本財団の
助成を受け、作成しました。

